

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第三回ディズニー・チャンネル放送番組審議会
議事録

開催日時： 2004年10月15日(金) 17:30～19:00
開催場所： 東京都港区
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナショナル
ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 5
出席審議委員氏名 : 加藤 諦三(議長)
湯川 れい子
木下 美子
前田 耕作
柳生 純麿

その他、ディズニー : エディー・カックス
からの出席者 (バイス・プレジデント/編成部)
待鳥 雅之
(コンプライアンス・スーパーバイザー/編成部)
太田 和成
(Disney Time、アートアタック プロデューサー/編成部)

議案

- 1) ディズニー・チャンネル番組編成及び改編について
- 2) ディズニー・チャンネル放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にVHSテープを送付した。)
「バーバリアン・ディブ」
「新しくまのプーさん」
「スペース・レンジャー バズ・ライトイヤー」
「リトル・マーメイド」
「アートアタック」

審議の概要

1) ディズニー・チャンネル番組編成について

エディー・カックスより、ディズニー・チャンネルおよびその番組編成及び改編について説明がなされ、下記のとおり意見交換が行われた。

(以下 印 審議委員からの意見及び質問、 印 ディズニーからの出席者の回答)

全体的なゾーニングには変化なし。

プレイハウス・ディズニーが月～金のための放映に変更。理由は視聴者調査(2004年4月に実施)の結果、週末は6～10歳の児童の接触率が高いので、未就学児童を対象としたプレイハウス・ディズニーを平日のみとした。

午後は他局との番組編成も考慮して、プログラム編成を変更。

『ボーイ・ミーツ・ワールド』などの実写ものは夕方に変更。

週末：ディズニーパラダイスの枠を増やす。方針としては、日曜日に新しいエピソードを放送。土曜日に再放送を行う。(放送時間も追加。)番組間の調査結果では、プレイハウス・ディズニーは圧倒的に強く、母親、未就学児童双方からの受けがよい。

プレイハウス・ディズニーにおいて人気の高いプログラムの例としては、『ザ・ブック・オブ・プー』『スタンリー』など

全体的な編成のなかで特に人気が高い番組は『アートアタック』。自分が開催している英語教室でも工作付きとなると参加率が上がる。幼稚園から小学校の低学年。高学年は英検などがあるからできないが、させてほしいという子供が多い。

最近の子供は家では勉強一辺倒なので、こういう場所を欲しているのでは？

今年8月には1時間ものの特番をやった。スタジオに来られない視聴者からは、作品・写真を別途送ってもらい、番組内で紹介する方法をとった。

当初、工作の内容が複雑すぎるのでは、という懸念があったが、(作っていないかもしれないが)人気が高く、接触率にも反映されている。

実際に作られているのかどうか、ということ調べることはできるのか？ 結局、親が手伝ってやらないとできないこと子供には難しい。しかし最近、母親が部屋を汚されるのを嫌がるケースもあり、参加

したがらないことも影響を与えていることもあるかもしれない。
子供たちの個性を活かせるような題材。また、大人が出した題材を子供がどのように考えて作るか、ということをサポートするような体制もあるべきでは？ 大人が作ったものをそのままさせるのではなく、子供の自主性にまかせた工作というものあっても良いのでは？

文部科学省のイベントで愛媛に行った。ペットボトルを利用した工作で、少しのヒントを参加者に与えて、そこから物を作らせる。母親と一緒にやると、いろいろなアイデアなどを工夫するようになる。少しのヒントから発想を発展させていく機会を外部に求める（現在では、家ではあまりなされず、親子での作業もあまりないようだ。）他のイベントでも、従来は、出来上がったキットを与えて作成させたが、最近では身近なものを使って作る方に人気があるようだ。

「この材料がなかったらどうする？」ということから自分の発想をふくらませる機会が生まれる。

（事前にもらったビデオを見ていて）材料がないときにどうしよう？と思った。ないときついなぁと思った。

確かに番組では、日本の家には普通にはないものも使われている。もともと海外で制作しているため、海外では一般的でも日本では一般的ではないものも採用されている可能性がある。新シリーズの制作段階では、この点について特に注意したい。

家族が積極的に参加する番組を見たい。

10月の実写ものの反響：6～12歳は良く見ている。特に週末は6～12歳では実写の『ボーイ・ミーツ・ワールド』『レイヴン 見えちゃってチヨー大変！』が良く見られている。

NHKの『おかあさんといっしょ』のような、参加型番組。とくに、選ばれた子供たちではなく、一般の子供たちが参加できる番組。たとえば、ディズニーチャンネルの近所に住んでいる子供たちが参加できる等。中が見える／触れる、もしくは子供たちの作品が展示されている、などを通して親しみが持てるスタジオにするべきでは？

工作等の作品は届くので、そういうものを見せる機会があるのは良い考え。『おかあさんといっしょ』への応募のように我々も同様の対応をしたいと考えているが、独自性のある番組にしたい。

2005年の編成強化エリアは6～12歳の層：『アートアタック』『ボー

イ・ミーツ・ワールド』『レイヴン 見えちゃってチョー大変!』『101 匹のわんちゃん』『学園パトロール・フィルモア』など。

既に人気のある番組をどれくらい繰り返して放送しているのか？子供には繰り返しが重要。なぜなら、子供はストーリーをみたときの感情を味わいたいという傾向がある。それに対して大人は情報として物語を扱うため、見解の相違はある。

ディズニーパラダイスのホストの人気度は？このチャンネルで育っていくタレントがいるとよいのでは？例：Mickey Mouse Club から巣立ったスター。

岡田幸樹は若干そのようになりつつある。計画中の実写番組のタレントがそうになっていく可能性あり。

2) ディズニー・チャンネル放送番組について

『バーバリアン・ディブ』に関するコメント

いわゆるクラシックなディズニー作品らしくはないが、視聴者の反応は良い。

息子(30歳)のコメントとしては、冒険ものとしてはおもしろい。あまりディズニーらしくはなく、色目はあまり多くない。雑っぽいのが不思議だが、ストーリー性はその他と違うタイプで良いのでは？ディズニー的ではないが、個人的には好きなタイプ。

『スペース・レンジャー バズ・ライトイヤー』に関するコメント

ストーリーが少々わかりにくい。

現在 TBS にて深夜に放送されているが、まだ視聴者の認知度は低いのが現状。男児向けの番組として放送で、このジャンルは他局の強い部分のため、今後更なる展開を予定。

『リトル・マーメイド』に関するコメント

一ブランドとしての位置を確立しつつある。

「多民族的」「」になりつつある現在のディズニーと比較すると、リトル・マーメイドはディズニーのいわゆる本流的で非常に好ましい。

新しいキャラクターが出てくると、消えていくキャラクターや番組というのはあるのか？

番組によってコンテンツ自体の強さ(人気度、認知度等)が異なるため、

入れ替えの可能性はある。

2～5歳の英語教室もよいけど、お母さんも一緒に学べる英語番組があると良い。ミッキーのようなキャラクターをベースにした英語番組で、他の関連グッズの販売などの可能性等も広がるのでは？

3)『アートアタック』について

『アートアタック』について番組プロデューサー・太田より概要について説明がなされた。

本来イギリスの地上波にて放送されていた番組で、6年程前にディズニーがフォーマットを購入して始まった。

「アートアタック賞」について、子供の選考員がいたら良いのではないかな？

大人の視点ではない観点での選考も面白い。

全国横断プログラムの開催も良いのではないかな？

最近は母親があまり一緒に遊ばない傾向があるので、テレビを見ているだけの子供たちも多いのではないかな。実際に出来たものを送ってもらって、視聴者がどれだけ実際に作っているかのチェックを行ってはどうかな？ 最近は一方的に見せられる番組が多く、意思疎通が苦手な子供たちが増えている。

音がでる作品(工作)を作ってほしい。(例：たたいたり、吹いたりするもの)

家にあるもので作る楽器による演奏をおこなう予定。

音楽療法では、コミュニケーションが不得意な子供たちにとって打楽器や簡単に遊べる楽器は有効である。幼少時の子供に対する親の教育や躰のなさから子供達の将来への不安感を増大させている可能性もあるので、子供が親とコミュニケーションをとりながら自信をつけていく、というのは現代で必要不可欠であろう。

当初はディズニーらしい題材ではない様に思われたため、受け入れられるかどうかを懸念していたが、結果はおおむね好評。

あまり厳密にブランドを意識しなかったことが功を奏した。

題材としてアートでなければならないのか？例えば、ペンの別の使い方や、眼鏡をこんな風にもつかっても出来るよ、などは？現在の教育方法では、決められたことを決められたようにしなければならないということが多く、その結果、才能は高いのに自信がないという人が増

えてきている傾向がみられる、既に通常では使わなくなった手帳の使い道がそれ以外にもある、ということを目覚めさせるような番組が必要。

以上をもって本会議は、議会の審議全てを終了したので 19:00 閉会した。
上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。